

か づ や しんば賀津也と歩む会 NEWS ニュース

平成17年6月1日発行

VOL.7

6,000部発行

ごあいさつ

日頃からの変わらぬご支援に、心から感謝申し上げます。

さて、“郵政民営化国会”と小泉総理自らが名付けた今国会も、いよいよ後半戦に入ってきました。年金に医療・介護、雇用に景気回復、外交問題に災害対策、教育問題に治安改善…。今日の日本には、郵政民営化よりはるかに優先順位が高い諸課題が山積しているにもかかわらず、小泉内閣には国民の声は届いていません。国会内を歩いていると、いつもは「民主党はバラバラだ!」と我々を揶揄(やゆ)していた自民党議員たちからも「うちの方がバラバラだよ…」と泣きの本音が聞こえています。



私は小泉内閣の郵政民営化には反対です。確かに、日本の個人預金総資産の4分の1にもあたる郵貯・簡保の350兆円を民間に還流させることには一定の意義はあるでしょう。政府案では10年後に約130兆円が民間に移るとしています。が、はたしてどうでしょうか。政府と自民党の妥協の結果、国が出資して作る「持ち株会社」と「預金会社」「保険会社」の間の株の持ち合いが可能になりました。つまり“経営の一体化”が可能になってしまい、これでは何のための民営化なのかまったくわかりません。持ち株会社による貯金・保険会社の株売却が進まないで国の関与が続くため、融資などの業務拡大が認められず、実際には民間への資金流入は相当停滞することが予想されます。それだけではありません。そもそも郵政の350兆円に目をつけたのは経済・財政ともにジリ貧の米国です。民間金融機関への国民の信頼が失墜している中、貴重な国民資産が外圧によって他国へ流出してしまうことは国家や国民の利益ではないはず。竹中大臣は国を売るつもりなのでしょう。



小泉総理は「民でできることは民で」といいますが、石垣島から根室まで50円ではがきを配達する会社がどこにあるでしょうか。民営化すると、遠隔地での小包などの料金値上がりが事実上決まっています。結果として地方での郵便局がなくなる可能性もあります。「郵便局27万人の国家公務員を縮減する」という論法もまやかしです。実は郵便局は、公社の運営や職員の給料の支払いに税金を1円も使っていません。そればかりか、公社化された一昨年は2兆3000億円、昨年は1兆円以上の黒字を出しているのです。黒字の公社を壊して赤字の民間会社をつくるのは“愚の骨頂”です。経営が苦しかった旧国鉄民営化(JR)や旧電電公社(NTT)の民営化とは違う次元の議論が必要なのではないでしょうか。

「民営化して法人税を払わせる」といいますが、これもおかしな話です。現在の公社には4年間の「中期経営計画」の終了時点で一定額を超えた利益の積立金を国庫に納付する決まりになっています。そして、その額は民営化された新会社が最高税率で法人税を支払ったものよりも多いのです。つまり、民営化の方が国への収入が少ないことになるのです。「郵便局がコンビニになる」と調子のいいことを言う人もいますが、誰が郵便局でガムやタバコを買いたがっているのでしょうか。全国には2万1300の郵便局が存在しますが2007年4月以降、段階的に“コンビニ化”が予定されているのは都市部の比較的大きな1300局だけです。(都市部ではコンビニが飽和状態で閉店が相次いでいるというのに!)今、郵便局に求められているのは、コンビニへの変身ではなく、土日の営業などの本来業務のサービス向上ではないでしょうか。

郵政も常に進化と改革が求められるのは言うまでもありません。しかし、民営化したドイツもニュージーランドも政策の失敗が指摘されています。小泉さんが大好きな米国でさえも公社化を堅持しています。パフォーマンスによる郵政改革でなく、国民のための郵政改善が求められています。

今、国民が何を求め、何に苦しんでいるのか…この本質的な問題解決から目を逸らす政権は、間違いなく崩壊します。一日も早い「政権交代」を皆さんとともに実現させたいと、今ほど強く感じる時はありません。

参議院議員 榛葉 賀津也

1/7(金)	役員新年会
1/10(月)	御前崎市支部 新年会
1/25(火)	小笠支部 新年会
2/10(木)	下田市支部 懇親会
2/12(土)	第4回総会・国政報告会
2/23(水)	国会議事堂・世界らん展見学ツアー
2/26(土)	天竜市 座談会
3/5(土)	豊岡村 座談会
3/11(金)	森町 座談会
3/19(土)	大東支部 座談会
3/21(月)	男女共同参画イベント「トーク&アカペラライブ」
4/2(土)	静岡市 座談会

第4回総会・国政報告会 2月12日(土)

掛川市生涯学習センターにて、第4回総会・国政報告会を開催しました。連休の中日にもかかわらず、800名を超える方々にお越し頂きました。今回は記念講演の講師として、テレビでもひっぱりだこの白 眞勲(はく しんくん) 参議院議員をお迎えしました。昨年の参議院選挙で比例区から当選



白 眞勲(はくしんくん) 参議院議員

した白議員は、お父様が韓国出身ということもあり、民主党だけでなく永田町きっての朝鮮半島の専門家。この日の講演は、北朝鮮が核保有を発表した直後のタイミングにぶつかり、なかなかテレビでは最後まで聞けない深い話、裏話、本当のところをじっくりと40分にわたってお話し頂きました。後半は「政策&永田町の実情トーク」と題し、しんば議員・白議員がふた

りて登場。しんば議員は「中東」、白議員は「朝鮮半島」が専門分野。互いの持ち味を熟知しているふたりならではの即興トークでは、会場の雰囲気と一体になって大いに盛り上がりました。各地からご参加下さった皆様、本当にありがとうございました。

国会議事堂・世界らん展見学ツアー 2月23日(水)



スマトラ津波視察から帰国直後のしんば議員を囲むでの昼食会では、テレビからは伝わってこない現場の生々しい話が聞けました。また、東京ドームでの世界らん展では、咲き誇る10万株の花々に魅了されました。

天竜市 座談会 2月26日(土)



天竜の若手10数名と座談会を開催。参加者の皆さんとしんば議員との政治についての「本音トーク」は、日頃の疑問や感想がぶつかりあい、刺激的な意見交換になりました。

森町 座談会 3月11日(金)



森町のアクティ森にある「手作りそば ほっとり」において、30代~40代の若者を中心にしんば議員との座談会を開催いたしました。

平成の大合併の流れの中、住民投票を実施し、あえて単独の道を選んだ町ということもあり、会の参加者は自分達のふるさとの今後に不安と期待が入り混じっている様子でしたが、しんば議員から「これからは自分達が自分達の住む町をつくる時代。本当の地方の時代がはじまる。『森』という全国的にもメジャーな地名に誇りを持ってほしい。」との話に、参加者全員が興味深く聞き入っていました。

男女共同参画イベント 3月21日(月)



静岡市青葉公園において、学生のアカペラライブと同時開催。政治と音楽が見事に融合し、世代や立場を超えた共感が生まれました。

S H I M B A K A Z U Y A T O A Y U M U K A I



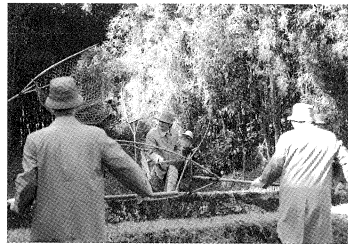
任期6年の折り返し地点を過ぎた2005年。参議院では委員会運営に直接関わる「理事」の役職に就き、党内でも重要な職責を任されるようになり、毎日国会内・国内外を「奔走」しています。
今年前半のローカル&インターナショナルなしんば議員の活動ぶりをご覧ください。

沖 縄視察 1月12日~14日

例年、参議院の「沖縄北方特別委員会」視察には各党の委員が参加して現場の生の声を聞き、日頃の委員会室での質疑とはひと味違う角度から沖縄問題を考えます。
今回の視察では、昨年8月に米軍ヘリが墜落した沖縄国際大学の現場へも足を伸ばしました。米軍の普天間飛行場や辺野古予定地も視察。その後の米軍基地内での意見交換は、日米問題、米軍基地問題に取り組んでいるしんば議員にとって非常に有意義なものでした。



宮 中行事 鴨狩 1月18日



「皇室アルバム」などで、国賓の方々や皇族の方々や鴨(かも)を放している光景をご覧になったことがあるかもしれませんが、まさにそれがこの鴨狩です。年末に民主党事務局から「榛葉先生、‘かもりょう’に行きませんか?」と電話が入ったときは、「‘かも’? ‘鴨ネギ’の鴨?」「なぜ宮中行事のお誘いがしんば議員に?」との疑問が。事務局のおごそかな返事は「榛葉先生も国対副委員長になられて宮中行事へのお誘いがかかるお立場になったということですよ」とのこと。当日は古式ゆかしく、なんと専用のコートまで(!)お借りして参加させて頂きました。

「皇室アルバム」などで、国賓の方々や皇族の方々や鴨(かも)を放している光景をご覧になったことがあるかもしれませんが、まさにそれがこの鴨狩です。年末に民主党事務局から「榛葉先生、‘かもりょう’に行きませんか?」と電話が入ったときは、「‘かも’? ‘鴨ネギ’の鴨?」「なぜ宮中行事のお誘いがしんば議員に?」との疑問が。事務局のおごそかな返事は「榛葉先生も国対副委員長になられて宮中行事へのお誘いがかかるお立場になったということですよ」とのこと。当日は古式ゆかしく、なんと専用のコートまで(!)お借りして参加させて頂きました。

北 方領土返還式典@根室 2月6日~7日

民主党の「ネクスト沖縄北方問題担当総括副大臣」を拝命してから、沖縄や北海道への出張が増えました。この日は、東京と根室にて同様の式典がおこなわれました。現場主義のしんば議員はやはり現地へ! 様々な立場で式典に参加している方々とお話をさせて頂き、後日の委員会でもしっかりと生かしていました。取材力と演説は抜群です。

東 京拘置所視察 3月4日

「性犯罪者の更正システムの検証」のために法務委員会の議員と共に視察してまいりました。しんば議員ならではの感想をホームページに掲載したところ、大きな反響があり、その一つが記事になりました。
「受刑者の拘置所内での生活環境も疑問に思った。環境が極めて無機質なのだ。‘植物’もない、勿論‘動物’もない、それどころか‘土’すら踏むことがない。このような環境で本当に‘人間らしさ’を取り戻すことができるのだろうか。(中略)…畑を耕して、種を植え、花を咲かせて、収穫の喜びを味わう。そして命の大切さを感じる。そんなことも大事なのではないだろうか…」(ホームページの”ウィークリーコラム”より)



本 会議で代表質問に立つ! 3月18日

外交防衛を専門とするしんば議員に白羽の矢が立ったのは「新防衛大綱」に関する代表質問でした。
「防衛大綱」とは、日本をどう脅かすからどうやって守るのか、そのために必要な防衛力はどのくらいなのか、という大きな方向性を決める文書です。代表質問にふさわしく大局的な視点から自説を織り込みつつ、堂々と演説しました。



防 衛研究会視察 4月4日~5日



岩国米軍基地や広島島の呉へ視察に行っていました。しんば議員に感想を尋ねると:

「国会議員は本会議場や委員会室で、国防のこと、有事のこと、自衛隊のことを議論するのがほとんど。けれども、現場で汗を流している自衛官と接すると、政治家のしている議論が、いかに現実と乖離(かいり)しているかを感じさせられる。自衛隊を動かす‘責任’は政治にある。そしてそれは本当に重い責任であることを改めて実感した」とのことでした。

E U議長からの招待 4月13日

欧州連合(EU)の議長国であるルクセンブルグ大使館から呼ばれ、朝食会に参加しました。
朝食会、といっても漫然とヨーロピアン・ブレイクファーストを楽しんではいられません。議題はEUの対中国武器禁輸措置緩和について、EU側の説明を日本側の政治家(しかも周到にも各党から一人ずつ防衛問題の専門家が選ばれていました!)が聴き、議論をする、というハードな朝食会でした。
外務省の説明や資料だけでは窺い知れないEUの内実に触れ、国際政治の一端を経験した思いでした。

民 主党「21世紀 沖縄ビジョン 改訂ワーキングチーム」が始動! 4月27日~

しんば議員が事務局長を務める「沖縄ビジョン」の改訂作業が本格的に始まりました。
「沖縄ビジョン」とは民主党の沖縄関連政策で、基地問題、自立型経済、観光産業など多岐にわたります。現在の「沖縄ビジョン」は2002年に作られ、各方面から高い評価を得てはいますが、米軍再編など近年の変化を反映させて、さらにバージョンアップを図ることが政権交代をめざす民主党に求められています。今年秋の完成をめざし、急ピッチで作業を進めていきます。ご期待ください!



韓 国へ! 議員交流&文化交流 5月10日~13日

昨年末の韓国視察のフォローアップとして、民主党の男女共同参画委員長代理の立場で、韓国ウリ党と民主党の男女共同参画に携わっている国会議員同士の交流・意見交換事業の打ち合わせをしました。

民主党の代表団としてスマトラ津波視察 2月14日~19日

鳩山由紀夫ネクスト外務大臣、藤田幸久衆議院議員と共に、年末の津波大地震で被災したインドネシアとスリランカを視察してまいりました。
「現場を歩いて、日本に対して我々が受け止めきれないほどの‘期待’を体感した。こちらがうろたえるほどの雪崩(なだれ)のような‘期待’である。奇(く)しくも今年は「戦後60年・被爆60年」の節目の年だ。我が国は多くのアジアの同胞に助けられながら今日の繁栄を築いてきた。アジアの中の日本として、また災害の経験を多く有し先進的な技術や人材を持つ国として、どうやって復興支援に貢献していくか。日本が何をしたいのか、それをどうやってやるのか、を行動で示していくことが、言うまでもないが何よりも顔の見える国際協力なのだと思う。」(ホームページの”ウィークリーコラム”より)



現在こんな活動しています (H17.6.1現在)

所属委員会	外交防衛委員会 理事 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 筆頭理事 イラク・武力事態特別委員会 委員
党職	「次の内閣」ネクスト沖縄北方問題担当総括副大臣 参議院国会対策委員会 副委員長 参議院政策審議会 副会長 国民運動委員会 副委員長 男女共同参画委員会 委員長代理 拉致問題対策本部 事務局次長 領土及び海洋権益問題プロジェクトチーム 副座長 21世紀「沖縄ビジョン」改訂ワーキングチーム 事務局長 静岡県連 幹事長

国会でこんな質問しました (H17.3~5)

■ 本会議

・3月18日 「新防衛大綱」と「中期防衛力の整備計画」について代表質問(前ページ「東奔西走」をご覧ください)

■ 外交防衛委員会【理事】

- ・3月15日 外務大臣、防衛庁長官の「所信」(大臣としての決意表明や問題認識を述べた演説)に対して質問。また、チェスの元世界チャンピオンのポビー・フィッシャー氏の身柄拘束問題について初めて国会で取り上げ、海外メディアから注目される。
- ・3月29日 本会議で代表質問をした「新防衛大綱」について、細部を詰める議論を展開。アジアの枠組みでの海賊対策を提案したところ、後日、榛葉議員が指摘した協定に日本が署名したというニュースが流れ、質問の効果を実感。
- ・3月31日 引き続き「新防衛大綱」問題で専門家を国会に呼び、各委員が自由質問。榛葉議員は軍事アナリストの小川和久氏から期待通りの答弁を得られ、手応え大。
- ・4月14日 日中関係が悪化した状況を危惧し、対中国外交のあるべき姿について議論。アジア外交を重視している榛葉議員の姿勢が伝わる。
- ・4月21日 アジア外交について専門家を呼んで議論(国会用語で「参考人質疑」と呼ぶ)。慶応大学の小島朋之教授の鋭い指摘に榛葉議員も感心。
- ・5月10日 来年3月から新しいパスポートは「IC化」される。一見便利に見える新制度が持つ功罪、影響について鋭く切り込み、問題点を暴く。

■ 沖縄及び北方問題に関する特別委員会【筆頭理事】

- ・3月9日 各党からの視察参加者を代表し、1月の沖縄視察から持ち帰った論点や課題を委員会の場で報告。
- ・3月25日 「沖縄振興特別措置法の一部を改正する法律案」について質問。地方分権や市町村合併の視点が多く入っていた点に榛葉議員らしさが光る。
- ・3月30日 沖縄県に自然科学を専門とする大学院大学を作る、という内容の「独立行政法人沖縄化学技術研究基盤整備機構法案」について、全党(民主、自民、公明、共産、社民)の共同提案で附帯決議案を提出。「(附帯決議(ふたいけつぎ))=法律の最後に付け足す文章を指す。法律を運用する際に特に気をつけるべき点を書くことが多い)

■ 予算委員会

・3月15日 専門家を呼んで参考人質疑。静岡県立大学の伊豆見教授と北朝鮮問題について様々な角度から議論。

■ 決算委員会

・4月25日 参議院の独自性を出す取り組みのひとつが「決算重視」すなわち決算委員会の活性化。榛葉議員は「外務省と防衛庁の決算について質問してくれないか」と党から指名され質疑に立つ。

すべての議事録はホームページ上でご覧いただけます。
(<http://www.k-shimba.com>)

賀津也の部屋

「榛葉さん、民主党でダントツ一番なんだって!」若手出身で同期の平野達男参議院議員が、本会議の帰りしな、大発見をしたかのような顔つきで私に話しかけてきた。「えっ?何が...??」「マスコミの某記者さんが、民主党議員の役職の状況について調べたんだって。そしたらさ、“長”のつく仕事をしている議員は、衆・参あわせて榛葉ちゃんが飛び抜けて一位だったんだって!岡田代表もビックリしてたって!」心あたりがなくなはなかった。国会対策副委員長、政調副会長、男女共同参画委員長代理、沖縄問題の事務局長、国民運動副委員長に県連幹事長…。思いつくだけでも、10以上の役職についていた。「平野先生。でもほとんどが“長”の前後に“副”や“代理”がついてるヤツばかりだよ。ぜんぶ脇役っすよ」「だから大変なんだろ、汗かく立場で。党の仕事しない議員は結構いるのに…」確かに、最近やたらと忙しい。でも、泥をかぶっているのは私ではない。それを陰で支えてくれている秘書たちの存在。「スタッフが一番大変なんだよなあ…」

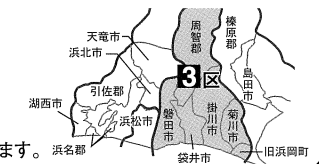


民主党
静岡県第3区総支部長 **決定**

ひらしま
平島こうじ氏

1969(昭和44)年 1月2日生まれ 36歳

- 明治大学 政治経済学部 政治学科卒
 - 松下政経塾 第15期卒
 - 民主党本部(政策調査会、組織委員会)
- 好きなもの→食べるものなら、なんでも!
好きなことば→友愛
自慢できるもの→脚力と行動力!



皆様、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。 浜名郡



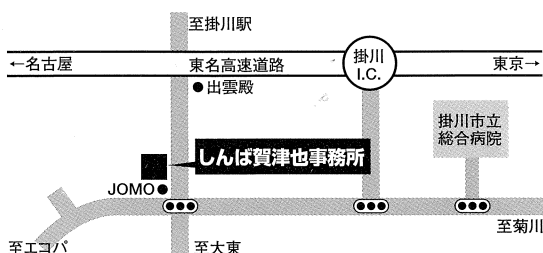
榛葉賀津也さんのご活躍を期待する。名門掛川西校野球部出身。豊かな野球経験を活かし高校野球大会では、平成12年まで審判委員を務め、若手審判として将来の野球界を背負うだろうと期待された。高校野球の精神「ファイト・フェアプレー・フレンドシップ」を政治の世界で活かしご健闘されることをお祈りする。

元静岡県高校野球連盟理事長 栗原秀夫

編集後記

各地・各支部での活動・ご支援ありがとうございます。さすが我らしんば議員、各地で活躍され紙面がいっぱいになってきました。おかげで編集後記のスペースもだいぶ小さくなってきたような気が…。活躍がうれしい反面ちょっと寂しいような。これからも内容いっぱいのお歩む会ニュースにしていきたいと思います。
《編集委員一同》

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中! わたしたちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただける方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



【発行者】

しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail: go@k-shimba.com

<http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、榛葉事務所・事務局 市野まで